

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、腎臓小児科では、杏林大学医学部付属病院小児科が実施する下記研究のために、本学で保管する下記の残余検体・診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。

この研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] 後天性腎疾患の病態における液性因子の検討

[研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：杏林大学医学部付属病院 小児科 福原大介
本研究に関する問い合わせ先：杏林大学医学部付属病院 小児科 福原大介
電話：0422-47-5511（内線6275）（応対可能時間：平日9時～16時）

[利用・提供の対象となる方]

2016年4月1日から2021年3月までに、腎臓小児科において診療が行われ、既に研究への参加に包括的に同意し、登録され、血液検体及び腎生検試料が保存されている方

[利用・提供している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：血清・血漿600μL、腎生検検体

診療情報等：診断、年齢、性別、治療方法、治療反応性等

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究：無）

ネフローゼ症候群発症時の液性因子を他の後天性腎疾患と比較し、その病態の一端を解明することを目的とした研究実施

[主な共同研究機関及び研究責任者]

杏林大学医学部小児科学 講師 福原大介

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：倫理委員会承認後 ～ 2026年12月31日

提供方法：直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：腎臓小児科 准教授 三浦健一郎

研究内容の問い合わせ担当者：腎臓小児科 白井陽子

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）

[東京女子医科大学における機関長]

理事長 岩本絹子